

すなお

令和7年7月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮英治

発行日 2025.7.16 通巻 No.780



修養科一期講師をつとめて

会長

4月から1006期104組の担任としてつとめさせていただくことになり、一番最初のクラスでの挨拶で「皆さん、この担任と副担任、当たりだと思いますか？ハズレだと思いますか？」と尋ねました。もちろん、急な質問ですから誰も答えられませんでした。が、「私は副担任の先生、当たりだ！と思っていますし、修養科生皆さんも当たりだ！と思っています。それはなぜか？何をもって当たりなのかハズレなのかということをお話しました。

日常、いろいろな場面で自分は果たして当たりを引いているのかハズレを引いているのかと考えていると思いますが、教祖が自分に下さるものは全て当たりです。同じ状況でもハズレだと思えばハズレになりますし、当たりだと思えば当たりになるということです。それなら自分にとって最高の場面や人を与えて下さっていると教祖の親心を信じるのが大切です。その親心を信じるということが信仰をするということになります。」とお話をして修養科一期講師がスタートしました。

それから、あっという間の3ヶ月。身上もあり、事情もあり、自分の体調もぎりぎりの綱渡りの日々でしたが、とても楽しいものでした。この楽しいっていうのは、いろいろなドキドキ・ワクワク・ヒヤヒヤがあったからこそその楽しさです。何もなかったらつまらなくて楽しいにはなりません。あっと驚くような事や予想外の事があり、それを乗り越えることが生きることなのでしょう。

そして、結果。このクラスは本当に大当たりでした。とても明るく真つ正直な信仰初代の副担任と修養科生全員が年齢に関わらず、道を求めて前進しようとする皆さん。普段は車椅子に乗りながら、除草ひのきしんになると寝転がってでもする方もいれば、5月中頃からは車椅子の方々の各所への移動も交代で勇んでつとめてくれました。3人の組係はそれぞれの持ち場立場で良い色合いを出し、心の底からクラスの人たちの心の治りを願ってつとめてくれました。本当にありがたい3人衆でした。私自身も毎日、皆さんの助かりと勇み、そして心の成人を祈る日々。もう嬉しくて堪りません。そんな皆さんと出会わせて下さった教祖に感謝の日々です。

また、4月からのスタートということで13クラス、25人の講師の方々と共に時間を過ごさせていただきましたが、それぞれ深い御縁をいただいているのだということをつくづく感じながらつとめさせていただきました。修養科前半の（打ち物）鳴物練習での講師の司会はそれぞれの個性が爆発し、陽気なおつとめ練習となったと思います。そのため回を重ねるごとに修養科生の出来がみるみる良くなっていくのを感じ、ついつい高いレベルのことを伝えたくなくなってしまったこともありました。

さらに、おちばで過ごす日々だからこそ、3ヶ月という長期間だからこそ、詰所やクラスで味わう人間関係で悩むからこそ、素晴らしい修養科生活になるのだと深く感じさせていただきました。そして、修養科生を取り巻く全ての皆さんが（助かってほしい、成人してほしい）という熱い思いをもってつとめられていて、その一員として関わることが出来て嬉しい限りです。

(次ページへ)

今までは教養掛という立場のみの感覚でしか修養科生を見ていませんでした。しかし、今回は一期講師として教祖伝の授業やひのきしん、鳴物練習等さまざまなカリキュラムを進めていく中で、各種錬り合いのプログラム等もとても深く検討されたものだということも経験させていただき分らせていただきました。

最後に教会の留守を守ってくれた奥さんを始め、信者の皆さんのおかげを忘れることなく、このたび修了された1006期修養科生の皆さんと共になお一層の成人を目指し、日々を通していただきたいと思います。本当にありがとうございました。

追伸、みなさん修養科へ是非是非いつてみてください。ありがたいですよ。



音楽を通しておたすけを

二宮 真悟

皆さん、猛暑続きですがいかがお過ごしでしょうか、今月は音楽のことについてお話したいと思います。

私が楽器を持つようになったのが小学3年生ころで、かれこれ20年ちかく楽器を吹いてきております。とてもそれだけ長く楽器を吹いた感も、技術もまだまだ持ち合わせてはいないのですが時は早いものです。

COSMIC BAND→天理教校学園と経て、今は中和大教会のMH0(ミッドハーモニックオーケストラ)というビッグバンドに所属して、おちばや大教会の行事などで演奏させて頂いています。そして、今年からご縁あって本部の音楽研究会でもトランペットを吹かせて頂くようになりました、とは言うものの、流石本部の楽団で楽譜の難易度が桁違いで全くついて行けておりません、、、笑。しかしながら、亀の進むスピードぐらいで少しずつは上達してきており、高校時代のことを思えばようやく中間地点ぐらいまでは来れたかな？というところです。

先々の目標としては今治に帰ってきたときに、ここで音楽を通じた活動が出来るようになったらいいなあと思い勉強も意味も込めて音楽をしています。自分自身がプレイヤーとしてもですが、指導者としても子供達や学生さんと共に音楽をする楽しさと人々に届ける喜びを体験してもらう事を伝えられるようになる事も目標のひとつです。

今月末からこどもおちばがえりが始まります。26.27日と詰所では夜に5階で行事を予定しており中和バンドも演奏予定です。ようやくクーラーも設備されて涼しい中で楽しんでいただけたと思います。とは言いましても外は暑い中ですので、無理をせずお越しくださいませ、お待ちしております。

《教会ニュース》

夏のこどもおちばがえり

「こどもおちばがえり」今月26日、27日に瀬戸路隊は参加させていただきます。隊の責任者は田中道則さんですので、詳細は直接お尋ね下さい。また、それ以外の期間でも8月3日まで開催されていますので個人ででも参加下さい。期間中会長は詰所に滞在しています。